

対象

子ども・若者の「居場所活動」をしている、またはしようとしている市民、団体
子ども・若者対象に「支援活動」をしている市民と専門職

子ども・若者の育ちと自立を支える

地域だからできる！生きる！

子ども・若者の「居場所」の価値と可能性を拓く！

kodomowakamono



1 基調講演

「生きづらさを抱える子どもたち」

講師 安井 飛鳥 (弁護士法人ソーシャルワーカーズ副代表)

- ・子どもたちの声、聴けている？
- ・見過ごされる生きづらさ
- ・子どもはなぜ語れないのか？
- ・最終的に人を救うのは？

2 実践報告

「地域が、子どもが、若者が元気になる活動事例集」完成！

- 事例① ひきこもり 10年からの脱却 働くことは生きること
- 事例② 地域が支える母子家族 安心と自信が生きる力に
- 事例③ コロナ禍、地元大学生が地域と繋がりパワーアップ

3 パネル
ディスカッション

生きづらさが広がる中、
地域で子ども・若者の育ちと自立を支えるということ

4 交流

「子ども・若者にとっての居場所の価値と可能性」を語り合おう！

特典

フォーラム参加申し込み先着 50 名の方に、9 月末に完成の「地域が、子どもが、若者が元気になる活動事例集」(JANPIA 休眠預金活用事業)を無料でお送りします。ご希望の方は必ず送付先住所を申込フォームに入力してください。

締め切り：2021年10月8日(金)

申し込み・問い合わせ

下記の URL または QR コードよりお申込みください。

※お申し込み後、ZOOM での受講方法についてメールにてお知らせします。

<http://yresearch-center.jp/kodomoforum21>



特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター
(担当：沼・佐塚・酒井)

TEL 045-228-9117 (平日 9:30-17:00)

Eメール top@yresearch-center.jp

URL <https://yresearch-center.jp/>

特定非営利活動法人
よこはま地域福祉研究センター
Yokohama Community development Research center

講師・パネラーの紹介

基調講演



安井 飛鳥氏

弁護士、またソーシャルワーカーとして、法律、福祉双方の専門性を活かして様々な困難を抱えた人たちの支援、福祉施設・福祉団体等の中間支援活動に従事。現在は子ども・若者支援分野を中心に児童相談所や児童養護施設退所者等のアフターケア事業所、スクールロイヤーの業務、フリースクールや学童保育等の運営に携わっている。

アドバイザー



加藤 彰彦氏

沖縄大学名誉教授
小学校教諭、横浜市寿生活館・児童相談所ソーシャルワーカーを経て沖縄大学教授、学長に就任。退官後は神奈川県を拠点に子どもから高齢者まで広く地域福祉に関わる。「野本三吉」のペンネームで著書多数

パネリスト



山崎 由恵氏
足柄郡

プレイパーク遊 Being♡あしがら主宰/
神奈川県ケースワーカー
神奈川県西域の8つのプレイパークはそれぞれ豊かな自然をベースに、子どもから高齢者までみんなの居場所。子どもたちが外遊びの力を育て、子どもたちが地域を身近に感じ、多様な世代の中で育つ環境を作っている。県ケースワーカーとして課題のある子どもの自立支援に関わる。

パネリスト



鳴海 美和子氏
横浜市

ワーカーズコープ連合会/
就労支援センター働楽(はたらっく)
ワーカーズコープでは協同労働の考え方を柱に、今日広がる多様な就労のつまずきを支えて、仕事を生みだし、当事者と仕事のマッチングを支援して、生きること、働くことを支援している。

パネリスト



依 隆典氏
川崎市

多摩ソーシャルデザインセンター事務局長
川崎市には複数の区にソーシャルデザインセンターを設置。地域の活性化を住民とともに目指している。介護事業所を運営する中で、地域包括ケアの中で登場しにくかった学生や若い子育て世代を地域とつなげることを考え、学生ボランティア中心の子ども食堂でまちづくり、地域の人材育成に取り組んでいる。

パネリスト



永井 圭子氏
大和市

NPO法人チャイルドケア理事長
産前産後の母親支援をする中で、さまざまな課題がある家庭に寄り添う。2016年より子ども食堂に関心の仲間と共に、「子ども食堂プロジェクト@やまとたまめし食堂」の活動を開始。行政、社協、医療機関、地域の商店等様々なネットワークを持ってきめ細やかな活動している。

よこはま地域福祉研究センター 子どもの地域生活支援プロジェクトアーカイブ

